



ニュージャージー 通信

No 8
2018年6月号

久永恵子

Happy Holidays!

□今期 授業終了!

6月30日(土)の授業が終わって、夏休みに入りました。授業再開日8月18日(土)まで、約7週間の夏休みです。補習授業校は、前期4月から9月、後期10月から3月までの2期制なので、夏休みや冬休みの前後の終業式や始業式があません。日本の儀式的行事で節目を意識したり感じたりすることがないので、赴任当初は違和感がありました。

また、入学式や卒業証書授与式も、どちらかというとお祭り騒ぎ?のノリで(特に高校生)厳粛さは感じません。長いこと日本の儀式的行事に慣れてきた私には、卒業証書授与式のあの厳粛な中に凜とした卒業生の姿が見られないことにちょっと寂しさを感じますが、アメリカ的なセレモニーにも良さがあります。



www.nybiz.nyc

Saturday, June 16, 2018



開会式は赤や白のTシャツを来た481人の児童・生徒が一并に入場し、4月に入学したばかりの1年生の可愛らしい選手宣誓には大きな拍手が送られた。各学年の徒競走に始まり、障害物競走やタイヤ取り、台風の目、玉入れ、中高等部の名物競技「お猿の駕籠屋」写真

情報写真提供
ニュージャージー補習授業校
www.jmsnj.org/

大運動会
子供たちにも保護者にも
楽しく思い出深い一日に
ニュージャージー補習授業校(天川博校長)では5月28日、「第22回運動会」が開催された。雨により一日延期の開催と

がし、綱引きなどの親子競技と、幼児部から高等部までの一貫校らしい、それぞれの成長が見られるプログラムで、どの競技にも温かな声援が送られた。赤白大接戦の勝敗のゆくえは、最後の競技選手リレーで勝敗を決した。テッドヒートの結果、軍配は赤組に。優勝トロフィーは、昨年優勝の白組から赤組に渡され、大きな拍手と共に喜びを分かち合った。

ニュージャージー補習授業校で行事

□北米東部地区補習授業校現地採用講師研修会

この研修会は、文科省からの派遣者がいない小・中規模校の現地採用講師に対して、大規模校の派遣管理職が講師を務めるという文科省の事業の一環です。

今回の研修会での講演は、トロント・ボストン・ニュージャージーの管理職派遣者が講師を務めました。

私に依頼された講演は「明日から使える授業実践例～作文指導～」と内容やタイトルがほぼ指定されてきました。

参加校は、ウェストバージニア国際学級・アーモスト日本語補習校・オタワ補習校・ニューポートニュース補習校・バッファロー日本語補習校・ピッツバーグ補習授業校・モントリオール日本語補習校・リッチモンド日本語補習校・ロチェスター日本語補習校の現地採用講師の方々です。教師経験の浅い人や教員免許がない人、日本での経験者など様々です。参加者の皆さんは、熱心に聞き入れてくれ、たくさんの感想意見をいただきました。

講演に当たっては、帯広市教育研究所から指導資料やパワーポイントを提供いただき、とてもありがとうございました。帯広の教育しっかりとPRしてきました。



□日本は布巾・雑巾文化！？

アメリカ人が日本に行ったとき、不便さを感じるのが、トイレにペーパータオルやハンドドライヤーを設置しているところが少ないことだそうです。アメリカでは、どこへ行っても必ず設置されています。アメリカにはハンカチ文化がありません。

また、家庭の中でも、日本は布巾や雑巾を使いますが、右の写真のように、アメリカでは、ナプキン・ペーパータオル・ウェットペーパータオル等で全てOK。使い捨てです。洗ったりブリーチしたり干したりする手間暇はかけません。合理的で清潔！

※児童の机や教室に、雑巾をかけているのは、アメリカ人にとっては考えられないことだそうです。見つけたらすぐ指導が入り、撤去です！！



□寿司BAR 回転寿司見つけた！

時々、無性に食べたくなるの刺身に寿司。こちらの日系スーパーや韓国系スーパーでもお刺身やお寿司は売っていますが、何かイマイチ違うんだなあ……。ネタの種類も少ないし、まず米そのものが違います。炊き方なのか酢合わせなのかわかりませんが。それでも無いよりマシ。

自宅から意外に近くに、「East Japanese Restaurant」と言う回転寿司店を見つけて、早速行ってみると、日本の回転寿司まんまそのまんまでした。ただ、少し雰囲気が違うのは、お客さんがアメリカ人や韓国・中国人が多かったことです。日本人はいませんでした。

日本人の寿司職人が握っているだけで安心して食べられました。日本と同じシステムで、皿の絵柄で値段が違います。サイドメニューも充実。こうした食生活をしていると、一瞬アメリカに住んでいることを忘れさせます。

